令和５年度第１回　瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会

通常事業事前審査　議事録

日　　時：令和５年４月２６日（水）　午後５時１５分から午後８時５０分
場　　所：瑞浪市役所西分庁舎　１階会議室
出席委員：山内　正雄（委員長）、辻本　紀み子（副委員長）、平中　学、柴田　洋子、
谷本　陽子、大宮　康一
※委員６名中６名の出席であり、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。
事務局：瑞　浪　市　長　水　野　光　二
まちづくり推進部長　小木曽　昌　弘
事務局職員：市民協働課長　加　藤　博　史
まちづくり支援係長　正　木　麻　子
まちづくり支援係　中　筬　高　弘
次　　第：１．委嘱状交付
２．市長あいさつ
３．委員自己紹介
４．委員長・副委員長あいさつ
５．議題
（１）審査会の役割について
（２）本日の審査会について
（３）審査会の進め方、申請状況について
６．審査（質疑応答・市長講評）
７．事務連絡
８．閉会

【１　市長あいさつ】

皆さんこんばんは。本日は、令和５年度の第１回夢づくり地域交付金等事業審査会ということでよろしくお願い申し上げます。谷本陽子さんにおかれましては初めてこの委員について委嘱させていただきました。他の委員さんについても、引き続き、委嘱させていただきましたのでお願いいたします。

地域の皆さんが、地域の課題などは一番よく分かっていらっしゃいますので、そうした地域の課題解消のためにどんなことを行えばいいか、地域の活性化のためにはどうしたらいいのかといった事柄について、地域の皆さんが自ら考え、実行していく事業として、この夢づくり地域交付金事業がございます。

この制度が出来てから、１６年が経とうとしています。多くの成果は挙がってきておりますが、最近の課題として挙げられますのが、なかなか次の世代にバトンタッチをすることが難しいといったことです。また、課題は分かっているものの、どのような手法で解決していくと、時流に合って効果的なのか

といった、解決手法についての迷いや行き詰まりといったことが生じているとも聴いております。

そうした課題について、瑞浪市としては名古屋大学の高野先生にアドバイスをいただきながら、各地区での将来像や課題解決の取組みなどを記した地域計画の策定支援をさせていただくことになりました。

瑞浪市の動きとして、令和６年度から向こう１０年間を計画期間とした「第７次総合計画」の策定作業に入っています。各地域においても、令和６年度を起点とする「地域計画」を策定いただくと、タイミングよく、市と地域の動きが連動できますので、まちづくり推進組織の方々を中心として、もう一度地域の課題などを改めて考えていただきたいです。そして、そうした課題についてどのように立ち向かっていったら良いかといった行動計画を策定いただくことで、地域として、具体的な行動を地域の皆さんの共通目標のもと行えるのではないかと考えます。

現在、それぞれの地域で、まずは課題を整理するためのワークショップなどを行い、話し合っていただいている最中です。今後、各地区でのより深い話し合いなどが行われ、今年度中に地域計画が策定され、来年度以降の各地区の事業計画にも反映されていくといったスケジュールになってまいります。来年度はそうした流れでの夢づくり地域交付金での事業計画がこの審査会に提出されてくるはずでありますから、どのような計画が提出されてくるのか楽しみであります。

今回提出されている事業計画については、まだそうした地域計画の取組みは入っておらず、今までの積み重ねがあったうえでの事業計画になっていますから、これまでの事業成果を踏まえて、より効果的な事業とするためにはどのような観点が必要なのかであったり、これまでの積み重ねを分析して、新しい観点で事業が行われているかなど、よりよい事業計画になるための疑問やアドバイスなどをいただければと思います。

また、公益的な活動をしてくださる、市民団体の活動への補助金として、市民活動補助金制度もございます。本当に意欲的な方々が多くの市民のために積極的に取り組んでいただいていまして、こうした市民活動補助金についての審査もこの審査会でお願いすることとなります。昨年度の３月での審査会では、市民活動補助金などのプレゼンを聴いていただきましたけれども、どの団体も本当に素晴らしいプレゼンでした。あれだけのプレゼンができるということは、団体自らの事業計画が大変しっかりしているものであることが伺えるものと思います。今年度の市民活動について、大変楽しみであります。

いずれにしましても、ご助言、ご質問などがそうしたまちづくり推進組織や市民活動団体のよりよい事業実施に繋がっていきますので、事業提案について、数多く発言等いただけますと幸いであります。本日はよろしくお願いいたします。

【２　委員長あいさつ】

市長さんが、おっしゃいましたが、各地区の事業が変化していくタイミングが今年度ということでもありますので、申請地区の皆さんの事業がよりよいものとなるよう、私も含め委員の皆さん方の質疑やアドバイスなどで、応援できればと思います。そうした審査会になるよう、委員の皆さん方、よろしくお願いいたします。

【２　副委員長あいさつ】

まちづくり推進組織の活動は大変広い活動をされていますので、審査委員ではありますが、知らないことも多く、こうした機会を通して、勉強もさせていただければと思っています。よろしくお願いいたします。

【３　審査会の進め方、申請状況等について】

≪審査会の進め方について事務局より説明≫

～質疑なし～

【４　審査】

≪①各地区からの事業説明≫

～省略～

≪②質疑・意見交換≫

釜戸町まちづくり推進協議会（以下「釜戸」）

○委員　青少年健全育成事業

和太鼓に関するワークショップを行うとありますが、具体的にはどのようなことをされるのでしょうか？

●釜戸

太鼓を叩くことに憧れを持っていただきたいと考えますので、まずはグループに分かれ、太鼓の叩き方を、青龍という太鼓のプロの方々にサポートいただき、教えていただきます。そうしていく中で一度全体で合わせて叩くといった形でのワークショップを行っています。従いまして、プロの方の情熱・技術を目の当たりにして、憧れを持っていただき、最終的に自分たちで全体で演奏できるようになるといった仕組みを目的としたワークショップを行うこととなっています。

○委員　かまど活性化・魅力発信事業

夏祭りに関して、参加団体が小学生等と記載があります。そうした子どもさんが、夏祭りでも主体的に何か協力されていくのか、もしくはその方向で検討しているといったことなのか教えてください。

●釜戸

子ども達が楽しめる、喜んでもらえる夏祭りにしたいといったことが根底にあり、子どもが少なくなっていってはいますが、何か子どもたちももっと主体的に楽しめることがないかといったことで、大人たちが子どもたちに働きかけ、運用している側面があります。たとえば、瑞浪北中学校の子どもたちには、受付、ボランティア活動のお手伝いをしていただいたりと、地域の大人たちと一緒になって活動をしてもらっています。人間関係づくり、関わりづくりを目指しています。

○委員　地域環境美化事業

子どもさんが授業として取り入れられたと説明がありました。地域と学校が一丸となって子供たちを育てていけるような事業で、他地域も参考にしていただくと良いと思いました。

●釜戸

本当にありがとうございます。地域と学校が一体となって、子どもを育み、地域を育んでいけるよう

頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

〇委員　青少年健全育成事業

稲津地区では屏風山で演奏会を開催している事業があるのですが、釜戸の竜吟の森で同じようにこの太鼓の演奏、発表会なんてできたら大変素敵だと思いました。また、志多らの方で美濃源氏大太鼓出身の方がいらっしゃると伺いました。美濃源氏大太鼓さんは、七夕祭りで演奏されているので、そうした繋がりが繋がりを呼び、釜戸の子どもたちが、七夕祭りでも演奏できたりするとさらに素敵だと感じています。

●釜戸

ありがとうございます。昨年度、瑞浪高校さんと連携して、和太鼓のユニフォームを作成させていただきました。この新作の装いを着て和太鼓の演奏を発表できる場を検討していきたいとも思っていました。アドバイスを参考にさせていただきます。

＜市長コメント＞

ご苦労様でした。３年間はコロナ禍で大変苦しい想いをされたと思います。今年度の事業は、そうした中での再スタートを切ろうとされており、心意気を感じる事業であります。３つの事業について、ただいま委員さんからのアドバイスを参考にしていただきながら、成果が挙がるように尽力していただきたいと思います。

太鼓の面でいきますと、先生も参加されるといったことなので、先生が上手に叩いていただければ、生徒も憧れをもって臨んでいただけると思います。また委員がおっしゃったように釜戸だけにとどまらず、七夕祭りで発表の場を設けることができれば、さらに子どもたちにとってもプラスの作用が働くのではないかと思っています。その辺りの連携も検討いただければと思います。しっかりと事業を遂行いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

大湫町コミュニティ推進協議会（以下「大湫」）

〇委員　問屋場跡公園の再整備

委託料が計上されているので、専門の業者さんにお願いするということでしょうか。またボランティアの方々の参加も記載されていますが、その方々は、大湫で活躍をされている若手の方々も多く入っていらっしゃいますか？

また、大変な活動になられるかと思いますが、食糧費が５０００円程度なので、飲み物のみが計上されているのかと思います。そこで、もし可能であれば、大湫の名物の五平餅などでも差し入れがあると大変有難いのではないかと考えました。

●大湫

委託料については、地元の庭師さんに剪定などをお願いする予定で、基礎などの下準備もお願いする

予定です。
　ボランティアについては、基本的には若手に出てきてもらいたいといった姿勢ではありますが、大湫には若手がそもそも少ないので、我々のような７０代で、大変お手伝いいただける方もみえますので、大湫町一丸となってボランティア活動を行うことになっていきます。
　また食糧費などについては、基本的にはお昼をまたぐようなことがあれば、五平餅やそのほかについてもきちんと検討していきたいと思います。

〇委員　中学生と語る会開催事業
　敢えて、大湫の悪いところも話し合うことになっていて、将来を担う子どもさんたちの意見をとても尊重していて、良い活動だと思いました。大人では考えつかないようなアイデアが出てくることを期待しています。
●大湫
　ありがとうございます。大人では気付かない、子ども目線での大湫町について聞いてみたいと思っています。そしてそれをまちづくりに活かしていきたいと考えています。

〇委員　中学生と語る会開催事業
　中学生の方々は希望者なのか、何名程度として学校にお願いするのか、どのような形になりますでしょうか。
●大湫
　これから学校にお願いをしていく中で、具体化していきますが、基本的には希望者になるかと思います。また、わたしどもの希望としては４０名程度来ていただけると良いと考えています。ただし、交通手段など、検討も必要であります。

〇委員長
　ボランティア活動の話が出ましたが、私としては、大湫町さんであれば、町外からのボランティア活動の申し出があるのではないかと考えています。大きなニュースになったこともあり、意外にそういった希望者が出てくる可能性もあるので、一度検討いただきたいと思います。

＜市長コメント＞
　夢づくり地域交付金の活用方法として地域の活性化と、地域の課題解消といったものがありますが、大湫町におかれましては、毎年、地域課題の解消を主な事業として取り組んで見えるのが特徴です。問屋場跡なども痛んできているということですし、いつもながらタイミングよく、この交付金を活用されて、地域課題の解消を図っていただいています。是非ともしっかりと行っていただきたいと思います。
　また、委員長の話にもありましたが、大湫町民だけでなく、市内外で、一度大湫に来てみたいといった方々は潜在的にいらっしゃると思います。これは大湫のこれまでの実績によって裏付けられていると思いますので、キッカケを作るという意味でも、今回の事業のボランティア活動について、是非とも市内外の希望者を募ってみる計画を立てていただければと思います。
　中学生と語る会ですが、大湫町の良いところ見てもらったあと、敢えて悪いところも含めて、子ども

目線での意見を言っていただくことになろうかと思いますが、大変良い事業だと思います。北中学校区といったことなので、他地区が担当の際にも、該当地区の発信といった側面にも注目していただき、引き継いでいただきたいと思います。

日吉町まちづくり推進協議会（以下「日吉」）

〇委員　特産品開発事業

天狗の台所の移転について、施設の老朽化といった話がありましたので、仕方のないことかと思いますが、今よりも環境が良い場所に移転されるのでしょうか。

●日吉

平成２３年度にステップアップ事業で現在の施設を改修しつつ、乾燥機などを搬入し、天狗の台所として設立しました。今回は老朽化に伴う移転を検討しており、移転先については、まだ未定ではありますが、今よりも少し小さな施設を検討しているところです。

〇委員　日吉町活性化事業

「いい移住委員会」が設置されるとのことですが、他地区にはない新たな取り組みだと思います。構成メンバーなどお伺いさせてください。

●日吉

若い世代で、現在募集しているところであります。だたし本日現在で、既に７名の応募はありました。ゴールデンウイーク明けに会議を行う予定であります。大淑町さんや釜戸町さんが既に移住についての活動を行っていますので、これらの活動を参考にしていきたいと考えています。

〇委員　教育文化事業

文献を読める方を増やしていくといった説明がありましたが、現在、講師としての専門家がいらっしゃるのか、またこの教室を何名くらいで開催されていくのか、さらに木陰教室といった教室がありますが、これはいったいどのような教室でしょうか？

●日吉

昨年から活動もしておりまして、日吉町には文化財保存会があり、その保存会の会長さんが講師を務めていただいています。昨年は、町内の方が１４名、町外の方は１名の１５名で開催しています。今年も同規模で、次の古文書の解読に向けて開催して行く予定です。

また木陰教室ですが、日吉町にあります、神社で木陰がある箇所があり、木陰神社と名付けています。そこでは子ども遊びなどをしています。

〇委員　教育文化事業

講師を務めていただく方は講師謝金はなしで行われていますか？一定程度の謝金をお支払いするとこのような活動も継続的にできるのではないかと考えます。

●日吉

講師の方は楽しんで行っていただいており、今のところ、これまでのようにボランティア活動として行っていただいています。

○委員長

しいたけの販売について、これまでの売り上げの推移を教えていただけますか。

●日吉

推移はだいたい横ばいとなっています。原木の更新についてなど鑑みると原木の本数を劇的に増やすなどできないため、同程度の水準で推移しています。

＜市長コメント＞

日吉町のまちづくり活動は、自主財源の確保を行う活動をしていただいているのが、特徴的です。現在、５０万円程度の売り上げを確保していただいているのが、一定程度の課題解消に繋がっているかと思います。天狗の台所についてですが、ステップアップ事業で改修していただきましたが、今後は、また、そうした売り上げアップに繋がるような使い方を、移転に伴って検討いただけると有難いと思います。

隣の土岐市での例になりますが、陶器商の方が野菜の乾燥粉末などをサイドビジネスとして売り始めたら、そちらの方が売れてしまって、陶器商をたたんでしまったといったお話を聞きました。土岐市のふるさと納税の返礼品でも好調なようですので、近くにそういった事例がありますので、そういったことも参考にしていただき、自主財源の確保などにもお役立ていただければと思います。

またいい移住委員会ですが、市長と語る会でも若い方々からの要望もたくさんいただいております。そういった熱意ある方々が移住対策を行っていただけると、日吉に移住される方も増えるでしょうし、市としても全面的に応援したいと思いますので、まちづくりとしても協力をお願いしたいと思います。

まちの方が取り組むことが本当に効果が挙がるものだと思いますので、よろしくお願いいたします。

陶町明日に向って街づくり推進協議会（以下「陶」）

○委員　文化振興事業

陶町観光マップについて、観光ルートの整備に重点を置かれて、その後、マップを完成されるとのことですが、そのマップを活用して、様々な活動に広がればと思っていますが、陶子連追跡ハイクの取組みはその同じ場所で行われているのでしょうか。また子どもさんだけではなく、大人の方の参加も考えていますか？

●陶

史跡巡りについては、まだ追跡ハイクのルートにはなっていません。子どもたちの体力的な面などもありますので、今後の検討事項になっていきます。

○委員長

与左衛門窯の窯焚きは年代別で交代していた記憶がありますが、現在は焚き手はどのようになっていますか。

●陶

陶は同年代の繋がりが強い地域で、今までは年代別で１グループが６時間ずつで交代していましたが、

そういったサイクルも難しい状況にはなってきました。ただし、半数程度は年代での交代制を保っています。残りについては、陶芸家のグループでの交代制となっています。陶には陶芸を通してのファンの方もいますので、そのような方々にも協力をお願いできるように検討していきたいとも考えています。

○委員長

与左衛門窯の窯焚きは、人気もあるでしょうから、焚き手について、町外の方の募集もしてみてはいかがかと思いますので、またご検討ください。

＜市長コメント＞

冒頭に話がありましたように、人材確保、世代交代といったことがずっと課題となっているかと思います。そんな中ついに若手のエースの伊藤さんがまちづくりの一員として入っていただけたとのことですし、伊藤さんの周りに頼もしい仲間がたくさんいると伺っています。これから、陶が培ってきたまちづくりに新たな風が吹き、世代交代がどんどん進むことになると良いなぁと思っています。

陶のまちづくりについては、陶の活動についてマスコミが色々と取材してくれるのは、陶にそうしたニュースソースが沢山あって、これらをもっと活用すると、さらに多くの人が、陶を訪れてくれるのではないかと思っています。交流人口の拡大として、陶一周駅伝は、市外、県外の方を呼び込む要素を沢山持って見えますし、こうした活動をもっともっとしていっていただきたいと思います。

また陶のうさぎ岩ですが、たくさんの人が見えているといったことを聴いています。ただし、うさぎ岩の周辺について危険な状態な箇所があることも聴いていますので、陶をはじめ、市、県も協力して、修復作業などができるように検討をしていきますので、また具体的な事業の際には、まちづくり推進組織が中心となっていただきますので、よろしくお願いいたします。

瑞浪地区まちづくり推進協議会（以下「瑞浪」）

○委員　潤いのあるまちづくり事業

日本ミツバチの育成事業については、試行錯誤が必要かと思いますが、継続して頑張ってください。

また、「正しい男女共同参画とは？」といったタイトルがあるのですが、これはどのような事柄でしょうか？ただしくない男女共同参画などはどのようなことなのでしょうか。さらに、どのような方が講師なのでしょうか。

●瑞浪

まちづくり推進組織の中には女性の方がずっと少ないのですが、男女共同参画についての事業を行うことで、女性の方にまちづくり活動に興味を持っていただきたいと考えて、この事業を行いたいと思っています。講師は、今までは（ＮＰＯ法人参画プラネットの）渋谷典子先生にお願いしています。

○委員　潤いのあるまちづくり事業

男女共同参についてですが、女性の参加を促すといったことだったかと思います。女性の意識を変えるということも大事なのですが、男性の意識を変える、あるいは男性の受け入れ態勢を変える、変わったかの評価を検討するといった観点も大事かと思います。これまで講演などをされて、そうした男性側の意識を変えた、あるいは変える必要があるなと感じたことなどはありますか？

●瑞浪

そういったご質問については、これまでたくさんお怒りの声を頂いています。例えば、特別扱い、これについては、そうした行為自体が男女平等ではないのではないかといったお声もいただいたこともあります。女性だから、まちづくり活動にもっと参加して欲しいなど、そういった発言自体がおかしいのではといった評価もいただきました。ですので、意識を変える必要があるということは実体験をもって自覚しております。

〇委員

男女共同参についてですが、なかなか難しいとは思いますが、女性だけとか男性だけといった区別ではなく、皆が一緒になって活動するといった観点で事業も行っていただけるといいのかなと感じています。

＜市長コメント＞

目玉になる事業のところをメインにプレゼンいただきました。ありがとうございました。
安全・安心なまちづくり事業について、防災の観点から毎年、防災訓練を行っていただいていますが、瑞浪地区は住宅が密集しているところもあり、地域の課題解消といった意味では、大変有難い事業をしていただいていると感じています。

芋ほりなどについては、参加者が年々増えているし、その仕掛けについてもプレゼンで説明いただきましたが、大変よく考えられていると思いました。そういった事業については、瑞浪の中での都会の子どもたちは、小さい頃から農業体験などをできるとまた、将来に繋がっていくと思いますから、今後も継続して欲しいと思います。

また、養蜂の事業については、市内の民間事業者さんとコラボしてみることも検討いただければと思います。

土岐地区まちづくり推進協議会（以下「土岐」）

〇委員　土岐小学校コミュニティ・スクール協力事業

通学路の安全マップ作りは年６回の会議を予定されているようですが、完成期日の目標はありますか。また、実際の通学路や危険な場所を見る予定はありますか？

●土岐

コミュニティスクール関連のマップ作製について、すでに一度子供たちの下校時に一緒に歩いて意見を聞きながら通学路、危険個所の確認をしました。今後も確認をする予定です。

〇委員　草刈り機教室事業

草刈事業では、土岐地区はユニフォームなど形から入っていますが、だれがいつ着て、どのくらいの数を作り、目的はなんでしょうか。

●土岐

法被に関しては、今わたくしも着ておりますし、ティーシャツに関しては草刈教室に参加してくれた人にお渡ししようと考えています。これからは私生活でも着てもらえる様な実用性とデザイン性がある

ものを作りたいと考えています。何着作るかは今のところまだ決まっていませんが、これから詰めていこうと思っています。

〇委員

ユニフォームの件ですが、地域おこしのために宣伝で着たいという気持ちはわかりますが、草刈り機を使って活動をするというのは、先端に刃がついており、例えばゴーグルや長靴などもう少し安全面に配慮したものも購入してはどうでしょうか。

●土岐

ありがとうございます。ゴーグルと軍手は参加してくださった方にお配りを予定しています。

〇委員

厳しいことを言うようですが、（女性限定ということですが）まず男子がこれだけやっているから女子もこれくらいやりなさいというのは、男女共同参画ではなくてただの強制と受け取られてしまう可能性があります。今のプレゼンテーションからはそういった意味でとらえられてしまいます。草刈事業のプレゼンテーションでも感じましたが、女性に限定する意義がどこにあるのかなと思います。それよりは、男女関係なく地域活動にかかわるきっかけになったほうがいいと思います。

●土岐

なぜ女性なの？とよく聞かれます。土岐地区は力仕事や機械作業が多く、それらを「父ちゃんに任せておけばいいだろう」という考えが多くあります。今回の草刈教室は混合ガソリンを使用する、音の大きな、重さも、重いものではなくて、充電式の軽く扱いやすいものを使い、女性の参加が少ない中で、入り口となるようなものにして地域づくりを行いたいです。

〇委員

そもそも女性のニーズとして、草刈に参加したいという声はあったのでしょうか。

●土岐

小学生の子供を持つ親御さんからそのような声が上がり、事業が始まりました。土岐の西部の若いお母さん方は、意欲があると伺い、それならばということではじまりました。

〇委員

まちづくり活動への女性参加について考えるのであれば、草刈りというよりも、直接まちづくりにかかわることにお呼びしてきてもらったほうがいいのではないでしょうか。

●土岐

電動草刈り機の例を二つ上げたいと思います。一つ目は、実際に電動草刈り機を使った方が、軽くてとてもつかいやすくていいという声がありました。二つ目は、評判が良いらしいです。どうして女性に草刈り機というのは、やはりそれを入り口にしてほしいということです。

〇委員

地域的に草刈り機を使うところは限られますよね。シルバーさんなど瑞浪にもあるので、有料ですがそういったところを検討してみてもいいのではと思います。なかなか受け入れるにはむずかしいのかなと感じました。男女という括りではなく出前講習をしてみてはどうでしょうか。まちづくりの入り口としてのという説明だとしっくりこないです。

＜市長コメント＞

ご苦労様でした。今いっぱい質問がでましたが、私がイメージしていたものと違ったのではないかといった思いです。地域の活動にそろいのユニフォームをきて、例えば土岐小学校の周辺の草刈を私たちがやりますよと２０人くらいが草刈をするとか、通学路の草刈をするとか、地域課題の解消といったことで、そこまで考えてらっしゃるのかなと思っておりましたけれども、一番大切なところの説明が足りなかったような気がいたします。ここまで大きな予算を組んでいらっしゃるので、もう少し、地域で検討し、再度組み立てていただきたいと考えています。現状の計画では、予算 18 万をユニフォームに使うといったことなどについて、それはなかなかわたくしも審査員の皆様も理解できないので明確にしていただきたいです。

明日の稲津を築くまちづくり推進協議会（以下「稲津」）

〇委員まちづくり推進事業

苗の管理は夏場暑くて大変だと思いますが、交代制にしているのかそれとも善意に任せているかどのようになっているのか教えてください。

●稲津

それぞれの役割分担がとてもできていると思います。マルチシートも敷きながら、極力水やりの頻度も少なくなるように我々も工夫をしています。

〇委員　文化・芸術・スポーツ推進事業

まちづくり年末イベントはどんなことをされるのですか。

●稲津

去年はハンドベルのコンサートを行いました。公民館の職員さんに提案をしていただき、私たちが決定させていただいております。

〇委員　３０周年記念事業積立金

きつねちゃんというのは稲荷の狐をもじっているのか、すでにキャラクターが決まっているのかどうなのでしょうか。

●稲津

稲津のまちづくりのホームページを見ていただくとわかるのですが、狐ちゃんのキャラクターが出できます。稲荷神社に住み着いている男女の狐のキャラクターです。稲津に住んでいらっしゃる方が描いてくださったものです。

○委員

３０周年記念事業の積立についてですが、10 万円を 5 年間、計５０万円ということですが毎年夢づくり地域交付金を積み立てていくといったことでしょうか？

●稲津

３０周年の積立金は夢づくり地域交付金交付規則の中にも積立てていくことができますよという規定があります。そういう項目を活用させていただきます。

＜市長コメント＞

ご苦労様でした。稲津の場合は文化芸術スポーツ推進事業が大きな特色となっているので、町をあげていろいろな事業をやってもらっています。人材が豊富で、フォークソングを歌う方々、寸劇をされる方々、いろいろな方がいらっしゃいまして、町内外から多くの方が訪れていらっしゃいます。最近ですと釜戸町が稲津を参考にしてフォークソングをまちおこしにも採用しています。このように、ほかの地区にも良い影響を与えていただいたかと思います。稲津ではまちづくり推進協議会が NPO になったこともあり、関連団体と非常にうまく、やり取りとしていて、組織としてうまく動いてらっしゃいます。そのおかげで町民の方々はご自分の興味のある活動に対して、どんな活動をどんなところで行われているか、そういったことが　　分かりやすいといった効果もあるかと思います。これからも引き続きしっかりと活動をお願いします。

明世地区まちづくり推進協議会（以下「明世」）

○委員　あきよウオッチング事業

町民ウォーキングとありますが、瑞浪市民ではなく町民に限定してしまっているのでしょうか。

●明世

コロナ禍なので、安全面、印刷物などの費用面も考えると現状では町民ウォーキングになりました。

○委員　スポーツ推進事業

ノルディックウォークとありますが、もっと意欲的に啓蒙したらよいと思いますがどうなのでしょうか。

●明世

回覧物を回すなど、努力はしておりますがなかなか参加していただけないのが現状ですが、少しずつは増えてはいます。

○委員

自治会加入者が少ないとありますが、防犯や防災の面で自治体加入のメリットを広げていけるとよいと思います。

●明世

戸狩はこの一年で１３件家が建ったということで組長さんに聞いてみたところ、有無を言わさず組に入ってもらっているそうです。そういうところもあれば、月吉のように声はかけているけれど入ってもらえていないという地区もあるので、区長さんや組長さん次第です。明世地区は４７％と加入率が一番低い地区なので、担い手の育成と同じくらい大きな問題として考えていきたいです。

●明世

質問された事項ではないですが、蛍の幼虫を今年は５０００匹ほど放流したので、とても期待ができると思います。昨年度は、見に来ていただきましたが、だいぶ少ない状況で申し訳なかったです。今年については、かなり期待できると思いますので、是非ともご覧いただきたいと思います。

＜市長コメント＞

発表ご苦労様でした。いろいろな事業を発表していただきましたが、やはり蛍がメインかと思います。ステップアップを利用されて、無事改修も完成されました。今年のホタルが飛び交う様は非常に楽しみであります。また、明世の皆様には、超深層研究所の 20 年間の研究のあいだは、不安と迷惑をおかけしましたが、今は無事に撤去され終わりました。

明世小学校の授業の一環で、自分で蛍の幼虫を育てるということで、身をもって環境の大切さを知っていただく良い機会になったと思いますし、継続的に地域と小学生との繋がりがホタルを通して生まれていることは大変素晴らしいことだと思います。また、中京高校の高校生もこの事業に携わってくれていると聴いています。こうして活動を広げて、まちづくり活動をされていることは、自然が相手ですし、大変だとは思いますが、これからも続けていっていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

【５　事務連絡】

≪事務局より事務連絡など≫

【６　閉会】

≪まちづくり推進部長より閉会のことば≫　　以上